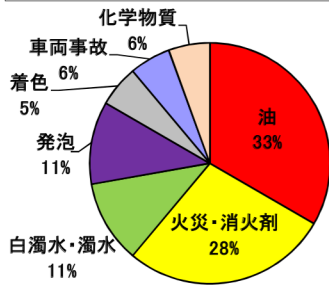


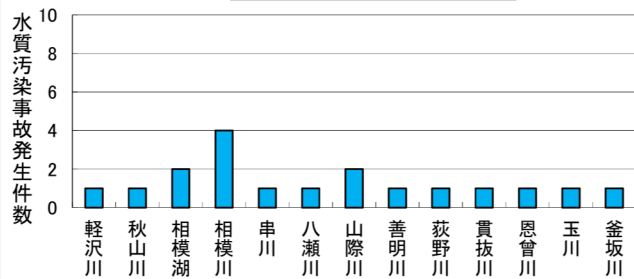
令和3年に相模川水系で発生した水質事故一覧

	発生日	発生市町村	発生場所	水質汚染事故発生概要	水道事業体の対応
1	1.26 (火)	厚木市	恩曾川	厚木市の恩曾川にフォークリフトが転落し、油が流出したため、厚木市がオイルマットを敷設したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、流出した油は少量で、フォークリフトは引き上げられ、油膜はオイルマットの上流のみであった。臭気試験の結果、現地のオイルマット直下で油様臭を感知したものの、下流に異常はなかったことから下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
2	2.14 (日)	海老名市	相模川	海老名市の相模川河川敷で火災が発生したがほぼ鎮火したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、燃えたのは河川敷の草等で、消火作業はほぼ終了し、水消火であることを確認した。現場下流100m付近において採水を実施し、外観、冷時臭気は異常がなかった。臭気試験結果、異常が無かったため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
3	2.18 (木)	相模原市	相模湖	相模ダム堤体下流でボーリング調査を実施していた台船より、ガソリン発電機が落下したとの情報があり、現地調査を行った。現地にはオイルフェンス及びオイルマットが設置済みで、周辺に油膜はなく、臭気試験の結果異常がなかった。20日に行われた発電機の引上げの際も油の流出等はないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
4	3.21 (日)	相模原市	串川	相模原市の串川に洗剤らしきものが流入し、消防隊が出動したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、串川に流入する水路には泡があるが、新たな泡の流出はなく、下流に異常はなかった。水質試験の結果、流入水路で陰イオン界面活性剤が0.5mg/L検出されたが、現地下流では異常はないことから、下流には影響がないと判断し対応を終了した。	現地調査
5	3.26 (金)	厚木市	善明川	厚木市下川入で火災があり、現地調査を行った。現地調査の結果、廃タイヤが燃え、PFOS含有泡消火剤を使用した消火が行われた。善明川で多量の泡が確認され、下流の中津川でPFOS、PFOAが検出されたことから、善明川、中津川、社家取水口で継続的に監視を実施した。3/30、泡の流出も止まりPFOSの濃度が下がったことから下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査 活性炭注入 監視強化 取水停止
6	3.27 (土)	相模原市	八瀬川	相模原市の八瀬川に油が流れたとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、八瀬川に流入する用水路から油が出ているが、暗渠のため発生源が確認できなかった。臭気試験結果、現地及び下流で下水臭であった。午後の現地調査では油の流出は減少し、臭気試験の結果も異常はないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
7	4.14 (水)	大月市	軽沢川	大月市の中央道中野橋付近でアスファルト乳剤散布中、大雨で一部が河川へ流出したとの情報があり、情報収集を行った。その結果、流出したアスファルト乳剤は10L程度であり、翌15日の現地調査の結果、現地及びその下流とも異常は認められないため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
8	6.10 (木)	上野原市	秋山川	上野原市の秋山川に車両が転落し若干の漏油があるとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、転落現場周辺に油臭はあるが油膜はなく、下流でも油膜は確認できなかった。臭気試験の結果、現場試料で油臭が確認された。6月14日の調査調査の結果、転落車両の引き上げを確認、漏油等はなかったため下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
9	6.18 (金)	厚木市	山際川	厚木市の山際川で油浮遊との情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、右岸側暗渠から山際川への油流入とオイルマットの敷設を確認、強い油様臭を感知した。油の流入と油様臭の強さは徐々に減少し、21日の調査では油の流入、油膜も確認されなかったことから下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査 活性炭注入
10	6.25 (金)	海老名市	貫抜川	海老名市の貫抜川で油膜浮遊との情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、新橋直下の右岸側排水口から油の流入を確認した。また、消防からマンホール内で油の塊を確認したとの情報を得た。臭気試験結果に異常はなく、その後の臭気監視でも異常はなかった。海老名市がマンホール内の油を除去し、貫抜川で油膜が見られなくなったことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
11	7.12 (月)	相模原市	相模湖	相模湖大橋左岸側からダムに向かって泡のようなものが浮いているとの連絡があったため、現地調査を行った。現地調査の結果、相模湖大橋左岸側及び直下の雨水排水口で発泡は見られなかったが、ダム堰堤下流側では発泡を確認、しかしその下流で異常はなかった。現地及び下流での水質試験の結果も異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
12	7.14 (水)	厚木市	荻野川	厚木市荻野川で大量の土砂が流れているとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、流量が本川に対して1/10程度の排水路から白い水が流れてきていたが、大量の土砂はなく、魚のへい死等の異常はなかった。現地及び下流での水質試験結果、臭気、pH等異常がないことから、下流には影響はないと判断し対応を終了した。後日、土砂は付近の採石場から降雨の影響で流出したものと判明した。	現地調査
13	8.12 (木)	海老名市	相模川	圏央道海老名IC付近で車両火災が発生し、泡消火剤（PFOS非含有）を使用したとの連絡があり、現地調査を行った。現地調査の結果、消火排水の排水口では発泡はなく、排水量もほとんどなかった。翌朝、排水口を確認したところ発泡を確認したが下流では見られず、水質試験の結果わずかに界面活性剤が検出されたが、相模川との流量比から下流に影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
14	8.23 (月)	厚木市	相模川	厚木市で工場火災が発生、泡消火剤を使用したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、火災は鎮火し、使用した消火剤はPFOS非含有のもので、消火排水のほとんどが工場内の貯水槽に溜まっており、河川への流出はないとの情報を得た。下流でも発泡はなく、水質試験の結果、界面活性剤も不検出であったため下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
15	9.14 (火)	海老名市	釜坂川	海老名市の事業所から水性ペンキが釜坂川に流出したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現地排水路及びその下流で白濁がないことを確認、問い合わせの結果、流出したペンキの量は0.7L程度とのことであった。臭気試験の結果、いずれの地点の臭気も異常がないことから、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
16	10.2 (土)	厚木市	相模川	厚木市の相模川、座架依橋下流で車両が川に水没したとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、事故車両からの油の流出等はない模様で、下流で油膜等は見られず、臭気試験結果も異常はなかった。10月4日に事故車両の撤去が確認されたため、下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
17	10.6 (水)	厚木市	山際川	定期採水に向かう途中、圏央道厚木PAで焼失した事故車両があったため、その場で厚木消防署員に聞き取りをした結果、冷凍食品を積載した車両が焼失、車載の水と消火器で消火したとのことであった。油が漏出した様子はなく、消火排水の流出先の山際川及びその下流でも異常はなかった。臭気試験結果も沼沢であることから下流への影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査
18	11.4 (木)	厚木市	玉川	厚木市の玉川で白濁が見られるとの情報があり、現地調査を行った。現地調査の結果、現場及びその下流で白濁は確認できず、採水した試料においても外観と臭気に異常はなかった。翌5日も現地調査を実施したが、異常は認められなかったことから、下流には影響はないと判断し対応を終了した。	現地調査

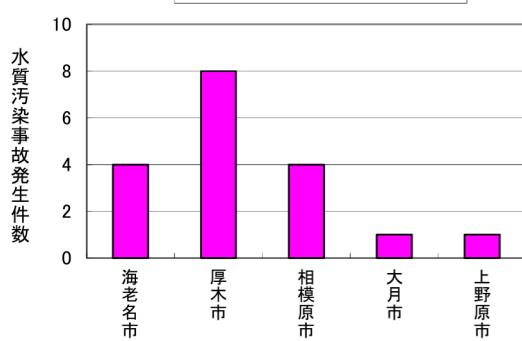
原因別水質汚染事故件数(1月～12月)



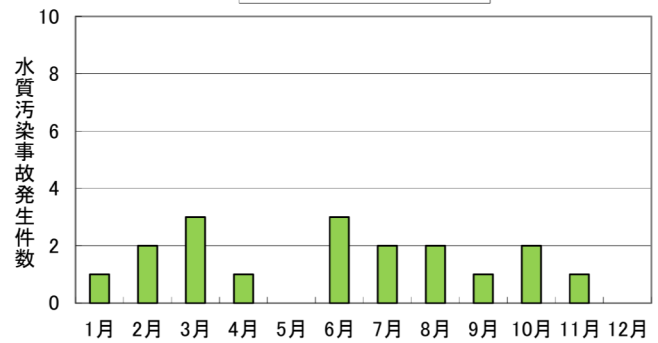
河川別水質汚染事故件数



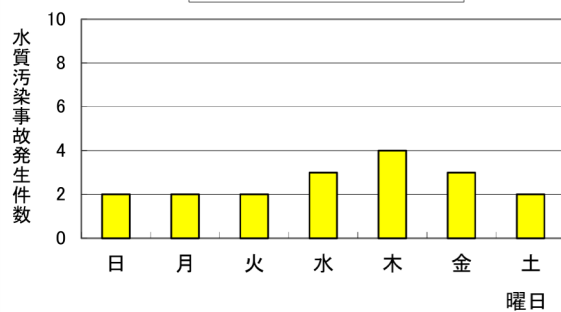
市町村別水質汚染事故件数



月別水質汚染事故件数



曜日別水質汚染事故件数



年別水質汚染事故件数

